

蛋白質及炭水化物の百分率及絶對量は雌蛾の方著しく大あり。脂肪の百分率は之れに反し雌蛾の約一八%に對し雄蛾にては四六%あり。従つて又脂肪の絶對量は雄蛾に於て大あるを見る。

附記、此試験中各日の吐爾各期の脱皮等を採集せしも未だ分析完了せざるを以て發表する能はず、後日を期し報告する所あるべし

會 告

一

大正六年三月廿一日を以て新に會員となられし諸君は養蠶科廿一名(本科)七名(選科)及製絲科三十二名(本科)合計六十名に在之候。

二

本年三月諸彦の御手本に致したる通知狀に記載致置候通本會改正規則は別記の通に有之候。尙之に關して御意見も有之候はば御聞かせ被下度候。

三

昨秋山形市に於て開催せる同窓會東北支部に於て一全國各地方に同窓會講習會を開き講師をして母校

教職員に御願する件を可決せられ候。本會は是が實行方法に向つて努力する決心に御座候。

四

同窓生諸君は學校に於ける新研究母校の模様同窓生の移動近況等の報知を熱望せらるゝ事と存候。本部に有る者も思は同じに御座候。出來得る限り其希望を充たす様心組居候へ共會員の移動等は各自に於て互に通知致さでは判明するものに無之候。諸彦に於て轉任等在之候際は速刻本部迄御一報願度かくして諸君一般の御希望に應ずる事を得可くと愚考仕候。

五

諸彦を取卷ける活社會の模様活社會の中心とされる諸彦が狀態。人と物物と人。御感想等余暇も有之候はば御報願度候。若竹や雪の重みをまだ知らず。春未だ若き後進はかくして活社會に人とされる諸彦によりて誘導啓發さるゝものに有之候。

同窓會新會員氏名

(第四回卒業生選科修業生)

養 蠶 科

(イロハ順)

市村幹司	二宮九二二	甲斐眞喜太	吉野健吉
吉村眞作	會山直高	長澤千丈	中根眞一

中島康雄

中根廣

中尾小太郎

岡部康之

野崎清

栗原茂

松岡道也

前田豐一

小林啓介

佐々木二郎

榊原鶴次郎

木脇寅熊

三橋宜夫

(以上本科卒業生)

横山宗治

高橋濟吉

田口博輔

小林輝一

佐藤國一

三浦八郎

高山長五郎

(以上選科修業生)

製絲科

伊藤勢龜

井熊虎太郎

井谷信一

池田泰男

今井衷

橋本景吉

丹羽清義

鳥原三平

小坂田亮

小笠原振一

大島秀

吉澤武夫

横田節樹

都筑賢吉

長見公祐

武藤俊治

久保田嘉一郎

山口正明

松尾順策

父母仙藏

小山久一

小湊潔

後藤榮

青木榮次郎

三輪愿

森田三郎

森山二郎

轟國彦

鈴木孫市

須田國之助

菅井辰三郎

鈴木鐵次郎